

## 台風16号の被害にあわれた方に心からお見舞い申し上げます。 被害状況と市の対応

### 1、 被害状況（消防局からの現時点での報告）

床下浸水1600棟以上

床上浸水300から500棟（西大寺地域では・久々井・宝伝・水門地域125棟くらい）

詳細把握は今後市民局・町内会の協力を得て福祉事務所が調査をおこなう。

道路・久々井（港を中心に県道などが損壊）

築港（土砂堆積）

宮浦（冠水）など他農道の損壊

樹木・学校園・公園・街路などの樹木の倒壊多数

堤防・久々井の防潮堤防が決壊・沖元の土手が損壊

下水・岡南ポンプ場が停電により停止したため地域が冠水

農業・20haを超える冠水被害・牧石の野菜、沢田の柿や梨、ブドウなどの被害

水産・のり網の流出多数、のり作業場での9棟の床上浸水

四つ手網多数の損壊（50棟のうち35棟全壊、残り15棟も大きな被害）

車両・300台以上の被害

船舶・うちあげ、転覆等の被害が多数。

### 2、 当面の対応状況

消防の救急及び調査出動40件以上

1人暮らし世帯への職員派遣4名

し尿・ごみ処理・薬剤散布の手配

農協共済の適用にむけ農業共済組合に協力して調査を開始

岡山市災害救助条例の適用を市本部会議で決定

### 3、 今後の対応

市管理の施設は早急に復旧し国、県にたいしては迅速な災害復旧対策を要請する

災害救助法、天災融資法などの関係法令の適用を国に要請する

今回の高潮被害が今までの想定を越えたものであった可能性があり、結果を分析し

今後の対策に生かす。

排水設備等の防災施設の運用方法について必要に応じ見直す。  
今後の追加情報があれば本部会議を開催して検討する。

今後のご相談や、援助制度の利用などは福祉援護課の対応になります。ご相談下さい。

#### 4、竹永の対応

午前中から水門、久々井、宝伝をまわる。

水門では床上浸水、船の被害、材木やの材木が流れる、舟が流れる、牛が亡くなるなどの被害を確認。ごみ、し尿処理は市からすぐ車がきて対応。消毒液の要望が何箇所からか出たので支所へつなく。各家庭一本クレゾールが配られることに。

久々井が一番ひどく、昼近くなってもまだ水が引かず、ポンプ車でも来て欲しいとの声のでたのですぐ消防署に連絡。消防署からポンプ車がきて水をだす作業が始まる。

宝伝はたたみをほしたり荷物をだすなどの手伝いをする。

医療生協や中央福社会友の会などにもボランティアを要請。会員さん、組合員さんを訪問、おにぎり200食の差し入れをしていただく。

以上、現時点での報告です。また皆さんのほうで何か情報があれば教えてください。

(竹永みつえの家族色通信 2004・9月 1 日号・91 号から転載)